

再審査に当たり意見を聴取する動物用医薬品の概要について

1 牛クロストリジウム感染症5種混合(アジュバント加)トキシイド

(”京都微研, キャトルウイン-CI 5)

(1)主成分

クロストリジウム・ショウベイ 沖縄 F 株 培養上清濃縮液

クロストリジウム・セプチカム No.44T 株 培養上清濃縮液

クロストリジウム・ノビイ B 型菌 CN1025T 株 培養上清濃縮液

クロストリジウム・パーフリンゲンス A 型菌 PB6KT 株 培養上清濃縮液

クロストリジウム・ソルデリー 3703T 株 培養上清濃縮液

(2)対象動物

牛

(3)用法及び用量

3 か月齢以上の牛の臀部筋肉内に 1 回 2 mL を 1 か月間隔で 2 回注射し、その後 6 か月間隔で注射する。第 2 回目の注射は、第 1 回目の注射とは異なる部位に行なうこと。

(4)効能又は効果

気腫症、悪性水腫及びクロストリジウム・パーフリンゲンス A 型菌による壊死性腸炎の予防

2 セフチオフルを有効成分とする牛及び豚の注射剤(エクセネル注)

(1)主成分

セフチオフルナトリウム

(2)対象動物(承認事項変更承認で追加された事項)

牛

(3)用法及び用量(承認事項承認で追加された事項)

本剤は、表示力価に従い 1 mL 当たり 50 mg(力価)となるよう注射用水で溶解して用いる。

1 日 1 回体重 1 kg 当たりセフチオフルとして下記の通り筋肉内に注射する。

牛:趾間フレグモーネ(趾間ふらん): 1~2 mg(力価)、3 日間

[使用禁止期間]

牛:食用に供するためにと殺する前 7 日間、又は食用に供するために搾乳する前 24 時間

(4)効能又は効果(承認事項承認で追加された事項)

[有効菌種]

フソバクテリウム ネクロフォーラム

ポルフィロモナス アサッカロリチカ(バクテロイデス メラニノジェニカス)

[適応症]

牛:趾間フレグモーネ(趾間ふらん)